

南市岡3丁目にかかる校区変更について

1. 現状

市岡小学校は、平成25年5月1日現在、児童数509人（南市岡3丁目の児童数239人）、学級数16学級、保有通教室20教室、運動場面積は3,400㎡である。市岡小学校は今後も児童数が増加する見込みであり、平成31年度には、児童数730人（南市岡3丁目の児童数342人）、学級数22学級となる見込みである。児童数が721人以上の場合の小学校の運動場の設置基準は7,200㎡（1人当たり約10㎡）であり、市岡小学校はその半分以下（1人当たり4.66㎡）となるため、教育上大きな支障が生じることから、早急に対策を講じる必要がある。

南市岡小学校は、平成25年5月1日現在、児童数118人、6学級であり、平成31年度の児童数は123人、6学級になる見込みである。

2. 教育環境改善に向けた考え方

市岡小学校は、今後、児童数が急速に増えることから、教育環境上大きな支障が生じる。また、南市岡小学校は、全学年単学級であり、6年間クラス替えができないなどの教育環境上の課題がある。今後の児童数の推移を踏まえても、隣接している市岡小学校と南市岡小学校の児童数は、著しくバランスを欠く状況にある。

両校の教育環境上の課題を解消するため、「南市岡3丁目」を南市岡小学校区へ校区変更を行い、両校を適正な規模（12～24学級）とする。

（1）市岡小学校

- ・「南市岡3丁目」を南市岡小学校区へ校区変更を行うことで、市岡小学校の運動場の狭隘が改善されるとともに、今後の教室の増築が不要となり、教育環境の向上が図られる。

（2）南市岡小学校

- ・「南市岡3丁目」を南市岡小学校区へ校区変更を行うことで、単学級が解消され、教育環境の向上が図られる。

（3）通学の安全

- ・「南市岡3丁目」の児童は、現在、幹線道路（国道43号）を渡って通学している。「南市岡3丁目」を南市岡小学校区に校区変更した場合は、幹線道路を渡らないで通学できるようになり、児童の通学の安全性が向上する。

以上により、「南市岡3丁目」を、南市岡小学校区へ変更することにより、市岡小学校及び南市岡小学校の教育環境の改善を図る。ただし、平成27年度から3年間、「南市岡3丁目」を調整区域※とし、平成30年度に南市岡小学校区へ校区変更をする。

※居住地（南市岡3丁目）の校区の学校（市岡小学校）以外の他の学校を「調整校」（南市岡小学校）と定め、保護者の申請により、調整校（南市岡小学校）に行くこともできる地域（南市岡3丁目）を特例的に設けること。

3. 小学校と中学校の接続

現在、市岡小学校と接続する中学校は、港南中学校（市岡1～4丁目の児童）と市岡中学校（南市岡3丁目の児童）となっている。

- ・「南市岡3丁目」の小学校区を南市岡小学校に変更することとあわせて、中学校区を市岡東中学校区とすることによって、同じ小学校から2つの中学校に分かれて進学する状態を解消し、小学校・中学校の円滑な連携を図ることとする。

【現在の校区】		【校区の変更(案)】		
住 所	小学校	中学校	小学校	中学校
市岡1～4丁目	市 岡	港 南	市 岡	港 南
南市岡3丁目		市 岡	南市岡※1	市岡東※2
南市岡1・2丁目	南市岡	市岡東		

※1 平成30年度実施
※2 令和6年度実施

「南市岡3丁目」を市岡東中学校区に変更する。実施時期は、小学校の校区変更（平成30年度）後に、最初に南市岡小学校に入学した南市岡3丁目の児童が中学校に進学する令和6年度とする。